



医療法人尽誠会 山近記念総合病院

〒256-0815 神奈川県小田原市小八幡3-19-14
電話.0465(47)7151 Fax.0465(47)8178
URL <https://www.yamachika-hp.jp/>

不妊治療の保険適応について

婦人科 本田 育子

新型コロナウイルスの感染拡大を心配しながらの年明けも3回目になります。皆様、気の晴れない毎日をお過ごしのことと思います。

本日は、不妊治療の保険適応についてご紹介させていただきます。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、令和4年4月から、体外受精や人工授精などの治療が保険適応になりました。ただし、以下のような制限があります。

1. 保険適応

一般不妊治療：タイミング法・人工授精。

生殖補助医療：採卵・体外受精・顕微授精・

受精卵／胚培養・胚凍結保存・胚移植。

今まで行われてきたオプション治療のなかには、併用が認められるものと併用ができない治療があります。

2. 生殖補助医療では、これまでの助成金の場合と同様に年齢・回数の制限があります。

治療に必要な検査や使用する薬剤のほとんどが保険適応になりますが、回数などで制限があります。窓口での負担額が保険診療の治療費の3割負担となります。また治療費が高額な場合の高額療養費制度につきましては、ご加入の医療保険者にお問い合わせください。

少子化といわれて40年、菅前内閣の少子化対策の目玉として保険適応がスタートしました。多施設アンケートでの体外受精に係る自費での費用は、新鮮胚移植でおよそ37～51万円、凍結胚移植で43～58万円（第472回中央社会保険医療協議会より）、令和4年3月31日までは、1回30万円の助成金制度で支援が行われてきました。保険適応では、採卵個数、受精方法、培養胚数によって細かく保険点数が変わります。たとえば、

3割負担の場合、採卵では、採卵術9,600+7,200～21,600円、体外受精12,600円、顕微授精14,400～38,400円、培養管理料13,500～31,500円、胚盤胞培養4,500～9,000円、胚凍結保存管理料15,000～39,000円、融解胚移植料は36,000円です。このほかに採卵に至るまでの検査、ホルモン注射などの薬代もかかり、3割負担とはいえ、一連の治療でおよそ15～23万円になります。また体外受精では、人工授精などに比べて、通院回数も増え、治療のリスクもあります。

日本の体外受精実施件数は世界有数ですが、採卵当たりの出生数は最低のレベルです。この背景には、年齢の高い患者様が採卵を繰り返さざるを得ない現実や、厳しい社会的経済的状況があります。若い世代に経済的ゆとりはなく、子育てにおける女性のジェンダー不平等は男性の5.5倍、キャリアか出産育児か二者択一の悩みも相変わらずです。体外受精保険適応による少子化対策というよりも、希望したときに安心して妊娠・育児に取り組める長期的支援が不可欠です。早く日本でも年齢が不妊治療の理由にならない日が来ることを願います。

近年、妊娠前からの健康管理（プレコンセプションケア）が推奨されています。カップルで、生活習慣の見直しや、体重管理、禁煙、女性の葉酸摂取などチェックしてください。また妊娠を希望されるカップルは、可能であれば妊娠前に風疹ワクチンやコロナワクチン接種をご検討ください。

不妊治療、生殖補助医療などについては、一度外来を受診していただき、ご相談されることをお勧めします。妊娠しない期間が長いカップルは、早めの受診をお勧めします。

大変恐縮ですが、現在、オミクロン変異株感染拡大で、外来受診は、女性1人とさせていただく場合があり、体温測定、マスク着用をお願いしています。



看護部通信

Vol.16



第二病棟看護師 大庭 香代子

4月に入職した新人看護師も、半年がたち、夜間勤務を行います。新人は心配や不安の中、笑顔を絶やさずひよこマークをつけ、業務に励んでいます。ひよこのマークのエンジェル達を見かけたら「新人さん、がんばってるね！」と、是非声をかけて下さい。ひとこと頂けると、「元気・やる気・勇気」になります。

様々な壁にぶつかり、悩み、つまずきながら、豊かな感性を持ち育つこと。経験から学べる看護師を育てるここと。次世代を担う人材育成が看護部の課題です。



乳腺のはなし その2:「乳房」と「乳腺」

院長 久保田 光博

乳房と乳腺は同じか違うかなど一般の方にはどうでもよいことですが、医学的には区別します。乳腺はお乳を分泌することのできる組織のこと、乳房は乳腺とそれを取り囲み、支える脂肪組織や靱帯、皮膚を含む全体の構造を指します。超音波検査では、乳腺超音波検査とは言わず、乳房超音波検査と言います、乳房全体を調べる検査だからです。

女性の乳腺は成長、妊娠、出産、授乳、加齢とその方の人生の変遷とともに変化します。最初は女性ホルモンのうち卵胞ホルモン（エストロゲン）の刺激で乳腺の発達が始まり、生理の開始とともに黄体ホルモン（プロゲステロン）の刺激も加わり発達が加速します。妊娠とともに乳腺は将来の授乳にむけ肥厚し、出産とともに催乳ホルモン（プロラクチン）の分泌によって乳汁の生産と分泌が始まり授乳開始となります。生産年齢を過ぎ、閉経を経て乳腺は退縮します。

戦前の「産めよ増やせよ」の国策の下、多くの女性が

沢山の子供を産み、育てた時代には出産、授乳のたびに肥厚を繰り返して伸びきった靱帯は乳腺が退縮した時にももとに戻らずいわゆる「たれパイ」の方が多いたと思われますが、近年そんな方を見ることはまずありません。70、80の高齢の方でも多くの方がしっかり乳腺の発達状態を維持されているのは驚きです。乳がん検診のマンモグラフィの読影の際には実感されます。社会、文化、食生活の変化によって、卵巣機能がなくなる閉経の時期を過ぎても何らかのホルモン活性が維持され乳腺の退縮を防いでいるものと思われます。これが高齢になられてもできるだけ乳がん検診を受けられるようお勧めする理由のひとつでもあります。

男性も乳腺の組織は有していますが、通常は未発達のままでです。時にホルモン刺激を受け肥厚することがあります。これを「女性化乳房症」と言い、通常は思春期前の女性の乳腺組織と同等と言われています。ときに男性乳癌との区別が必要になります。

～病院内のさまざまな部署を連載で紹介していきます。～

検査室より

新型コロナウイルス感染症が流行してから、PCRという言葉をよく聞くようになったと思いますが、PCRイコール新型コロナウイルス感染症検査ではありません。PCRとは検査方法のことです、様々な病原体の検査や遺伝子検査に使われています。

病原体検出検査には、感染直後に感染の有無が検出

検査室長 松本 幸子

できない期間があります。その検出できない期間に他の人に感染させてしまう可能性があり、注意が必要です。1回目の検査で陰性でも、後日の再検査で陽性になることは稀ではありません。感染症ではよく知られていることです。症状などから疑いがある場合は、後日再提出による再検査をお勧めします。

診察室を訪ねて⑯

外 科



杉田輝地 医師



久保田光博 医師



佐藤哲也 医師



金谷剛志 医師



佐藤誠 医師



山近大輔 医師



町田隆志 医師



高橋沙織 医師

外科は現在常勤8名で診療を行っております。外来患者200人前後、入院患者35～50人前後と山近病院の中核を担う最大の科となっています。当科では扱う疾患が多岐にわたっているため、患者数も多くなっています。外科疾患一般はもちろん、消化器内科疾患も扱っております。外科が消化器内科疾患も診ているため、患者様には分かりづらいかもしれません。まずは受付で何科を受診すれば良いかお尋ねください。

当科では鼠径ヘルニア、胆囊結石などは傷の小さい腹腔鏡手術で多数行っております。がんの手術も適応にもよりますが半数以上腹腔鏡手術で行っております。

乳がん、肺がん、胃がん、大腸がん、前立腺がんの5大がんのうち、乳がん、胃がん、大腸がんの3つを当科で診療しております。市の乳がん検診、胃がん検診、大腸がん検診も当科で行っております。

小田原市では本年度より胃がん内視鏡検診がスタート致しました。当院でも行っています。1日あたりの予約件数には制限がございますが、毎日やっておりますので、是非当院で胃がん検診を受けてみてください。

新任医師紹介

NEW FACE



松井宣昭 医師

初めまして。8月から内科医師として勤務している松井です。もうお会いした患者さまもおられると思いますが、あらためてご挨拶させていただきます。私は自治医科大学という地域医療に特化した大学を卒業し、秋田県の地域医療、中でも山間部や豪雪地帯など僻地と呼ばれる病院に合計で9年間勤務いたしました。どこの病院も、その地域の全ての患者さん（救急患者さんやお子さん、妊婦さんも含めて）を受け入れる体制でした。専門を持たず、何でも診るというスタンスで臨んでいましたが、自分の手には負えずドクターヘリを要請したことも幾度となくありました。その当時は心底大変で、入学した大学を間違えたと後悔したほどでした。今になって思うと、その土地の人たちとの交流もあったりの、非常に貴重な、思い出深い9年になりました。神奈川に来てからは消化器内科医として専門性を持って勤務していましたが、秋田での日々を懐かしく思い出し、いつの間にかもう一度地域医療に携わりたいと思うようになりました。ご縁があつてこの山近記念総合病院にお世話になっております。

患者さまにおかれましては、気軽に私の外来にお越しいただき、何でも相談いただけすると幸いです。ちょっとしたことでも何でも構いません。お待ちしています。

★山近記念総合病院の基本理念★ 広く市民に対して科学的かつ適正な医療を提供する

◇行動指針◇

- 私達は科学的で適正な医療を提供する為に、それぞれの分野で最高の技量と能力を得る努力をし、それを医療の場で実践します。
- 私達は、これらの実践にあたり常に患者さんの権利を尊重し、説明と同意に基づいた医療を基本とします。
- 私達は、親切・笑顔・挨拶をモットーに気配りの行き届いた心暖まる病院づくりに努力します。

トピック 最新機種の人工呼吸器を導入

臨床工学技士 原 貴史

患者様に優しい人工呼吸器

簡易的な酸素療法で体内に酸素を取り込めないと、従来は、気管に管を挿入して行う人工呼吸器療法しか方法がありませんでした。この方法は、患者様にとって非常に苦痛の強いものでした。しかし、今回当院が導入した最新機種は、患者様の重症度に合わせ苦痛の少ない方法も選択可能となりました。その方法2つを紹介いたします。

■〈カニュラ（鼻にチューブを装着）タイプ〉



酸素濃度と湿度の高いあたたかい風を、鼻につけたカニュラから勢い良く送る治療になります。鼻につけるカニュラは多量の酸素を送るために、少し太く大きいですが、鼻だけにつけるので食事や会話もできます。勢いよく酸素を送り込むことで肺が膨らみやすくなったり、湿度の高いあたたかい風によって痰を出しやすくすることで、酸素を取り込みにくくなった肺を補助することができます。気管に直接管を入れて人工呼吸器につなぐ治療よりも身体への負担が少なくて済みますが、より重症の患者様にとっては充分な治療となります。



コヴィディエン社製人工呼吸器
Puritan Bennett980

■〈NPPV（口と鼻にマスクを装着）タイプ〉



鼻マスクやフェイスマスクを装着し、そのマスクを介して気道に圧を加え肺の換気を補助します。従来の侵襲的な方法（気管内挿管や気管切開）と異なり、患者様への負担が少ないことが特徴のひとつです。気管に管を挿入しなくていいので患者さんの不快感が少なく、鎮静（苦痛を取り除くために患者さんに眠って頂く）の必要がないため、患者様とのコミュニケーションが可能です。また呼吸状態が許せば一時的にマスクを外して食事をしたり、会話も可能であり、患者様の生活の質を保つことが出来ます。

困ったことが
ありましたら
ご相談ください

入院中の患者様の介護保険サービスを利用した自宅への退院調整、他院への転院や施設への入所の支援、また入院・外来患者様の療養生活に関することなど、患者様やご家族からのご相談をお受けしています。

ご希望の方は 医療連携室 退院支援管理者（看護師）岩本（内線795）
医療相談員 小峯（内線786）へお問い合わせください。
(場所：病院1階)